

<p>学校教育目標</p>	<p>夢いっぱい ふるさと 豊栄小学校</p>	<p>経営理念</p>	<p>本校の使命 (Mission) 5年・10年生の未来を思い描き、1年後、どんな自分になりたいのか(夢)に向かい、何をしたいのか(目標)をもち、自ら課題を発見し、学ぶとともに、他者と協働して解決しようとする児童の育成          目指す学校像 (Vision) 1 夢の実現のために、目標に向かって努力する児童を支援し、意欲的・組織的に活動する職員集団の育成 (一人一人の児童に寄り添う。)          2 国語科を中心に、個別学習と協働的な学びの深化を目指し、児童の学力・教職員の指導力の向上を図る。          3 社会に関わられた教育課程の実現のために、学校運営協議会を充実させ、保護者・地域・関連機関との連携を図り、信頼される学校づくりの推進</p>
---------------	-------------------------	-------------	--

評価計画					自己評価				学校運営協議会委員評価		改善策			
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善策	
							9月	1月						達成度
確かな学力	1	主体的・対話的で深い学びの充実	基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習規律を徹底させる。</li> <li>わくわくタイムを充実する。</li> <li>コグトレに継続的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科における単元末テストの到達度85点以上の児童</li> </ul>	85%	70%	67%	79%	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科における単元末テストの到達度85点以上の児童は、全校で67%で、目標の85%を下回った。研究で取り組んだ説明的文章や文学教材の文章読解は全学年と55%以上回ることができている。「聞く・話す」「書く」単元の達成度が85%に届かない傾向があった。</li> <li>年度初めに行った「豊栄っ子の家庭学習の仕方」について、後期に再確認のための指導をした。</li> <li>全校でのわくわくタイムで対話への意欲付けができ、後期後半は児童の発達段階や実態に即した取組を充実させるために、各学年でのわくわくトークを中心に実践した。</li> <li>オンラインコグトレは、個々の実態や課題に合わせて問題を選択することができ、意欲をもって継続して取り組むことができている。週1回のオムライスタイムの他、学習の課題が終わった後などにオンラインコグトレに取り組ませるなど、時間の確保に努めた。</li> </ul>	B 3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「聞く・話す」単元の指導に、わくわくトークで身に付けた対話の力を生かしたり個別の指導を充実させたりして、読解以外の学力の底上げを図る。</li> <li>学力の定着を支えるための学習規律や対話の指導を継続し、学習に集中して取り組ませる。</li> <li>オンラインコグトレは、継続的に取り組めるよう、取り組む時間の確保に努めていく。</li> <li>家庭学習については、「豊栄っ子の家庭学習の仕方」に基づき指導と評価を続ける。個別の対応が必要な児童については、課題の適正な量や内容を調節することや保護者連携を継続していく。</li> </ul>	
			教職員の指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科における対話の工夫を行う。</li> <li>個別最適な学びを工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価表(教師)における肯定的評価</li> </ul>	85%	77%	89%	105%	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研究会後に参加していただいた東広島市の先生方による批評書を分析した結果、肯定的評価の割合が89%となり、目標値の85%を達成した。今年度の対話を通した指導の工夫として、児童の学習意欲を喚起したO次の設定、学習したことが生かせる他教科・領域と関連付けた学習活動により、児童の考えが広げ深まる授業を行うことができたといえる。</li> </ul>	A 3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究会で、実態の積み重ねをたくさんされていると感じました。</li> <li>教職員の指導力の向上が、児童の学力向上につながるよう期待しました。</li> <li>対話を通したことは大切なことなので、児童の意欲が高まるようにお願いします。</li> <li>達成度が100%を超え、多くの先生方に好評であったことが分かります。良い研究会でした。</li> <li>外部評価が戻ってきて、より客観性があると思いました。</li> <li>研究会で、先生の発問が児童にとって分かりにくい学級もあり、個別に考える時間には、大変良い考えを出している児童もいたので、残念でした。</li> </ul>	今年度の対話を通した指導の工夫は、充実したものであり、児童の学力を伸ばすことができたといえる。今後は、今年度の対話の工夫を生かして探究的な学習活動に生かしていきたい。
				<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りアンケート(児童)における肯定的評価</li> </ul>	85%	87%	95%	112%	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月に行った国語科の学習における児童の意識調査アンケートを分析した結果、国語科の学習の振り返りにおける肯定的評価が95%となり、目標値の85%を大きく上回った。今年度の取組により、児童は国語科に意欲的に取り組むようになり、他教科との対話を通して自分の考えを形成することに自信をもって行うことができるようになったといえる。</li> </ul>	A 3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科の授業に向かう姿勢が、とても良かったです。</li> <li>児童が自分事として考えられるようになった。とても良いと思います。しっかりと取り組んでください。</li> <li>教職員も含めて、児童の対話を通した関わりが学校全体に広がっていると感じました。</li> <li>「社会」が多発する中で、様々な立場の人と将来働くことになり、これからは、ますます対話する力が必要になると思います。</li> <li>研究会もあり、児童も積極的に学習していると思います。今後は、児童の意欲を引き出してください。</li> </ul>	今年度の対話を通した指導の工夫は、充実したものであり、児童の学習意欲を伸ばすことができたといえる。今後は、「話す・聞く・話し合う」も含め、対話の具体が日常生活や他教科・他領域で生かされるよう学習場面を仕組む。児童の主体性・協働性を高めていきたい。また、発達段階に合わせて、交流後の意見の生かし方について研究を深めていく必要がある。	
豊かな心	2	ふるさとに愛着をもち、夢を実現しようとする児童の育成	東広島スタンダードの定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活目標で「東広島スタンダード」14項目に取り組みさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東広島スタンダード4項目のうち自己評定で3つ以上達成する児童</li> </ul>	80%	58%	71%	89%	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の達成度は、1年生75%、2年生46%、3年生85%、4年生89%、5年生75%、6年生64%であった。各項目で見ると、「挨拶」90%、「履物を揃える」79%、「返事」166%、「言葉遣い」166%であった。</li> <li>靴揃えは現在児童主体の運営委員会が取組を行っていることが効果として表れていると考えられる。課題としては、決まった児童が靴揃えができていない傾向がある。</li> </ul>	A 3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童会の育成を期待します。</li> <li>適切に改善策が考えられていると思います。</li> <li>「返事」「言葉遣い」が、今後伸びることを期待します。</li> <li>他学年に比べ低い傾向にある返事については、この項目が特に低いのが気になりました。</li> <li>数値が低い学年があるのが気になります。</li> <li>「履物を揃える」が、先生方の服装があまりよくなかった。と苦言をいただきました。子供たち以前に、大人も考えなければいけません。</li> </ul>	言葉遣いについては、児童会で、全校に呼び掛けを行う。来年度に向けて、返事も同様に行う。返事については、取組が充分でなかったため、達成できない姿を児童と共有し、ゴールを明確にして取り組むようにしたい。
健やかな体	3	心身の健康を育てる教育活動	体力の増進と運動能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>業前体育や体育科授業、ロング昼休顔を活用し、体力づくりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>N1達成する児童</li> </ul>	70%	35%	63%	90%	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1分チャレンジの達成度は84%、2分チャレンジは75%であった。運動会で保護者参加を呼び掛けたことで、家庭内で取り組む児童が増えた。3分間を1分ごとのチャレンジとして区切ったことで、児童は達成できそうなものを自分で選んで挑戦することができた。2分3分には大きな壁がある。しかし、1年間の積み重ねで達成できる児童が増えた。日々の運動量が多い児童は達成でき、外遊びをあまりしていない児童は達成していない傾向にある。</li> <li>現在、体育の時間に、縄跳び検定を行い、様々な跳び方を30秒間調子よく跳べるように取り組んでいる。</li> </ul>	A 3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度運動会でN1の保護者チャレンジがあったのは、大変素晴らしいと思います。大人の背中を見せることは子供にとっても良いかなと思います。</li> <li>小中で体力づくりの充実を図るために、縄跳びは有効だと思います。</li> <li>体力や運動能力の向上は、学力の向上に必ずつながります。頑張ってください。</li> <li>保護者と親を共有して、体力増進の取組が進められていると思います。</li> <li>児童が体育に興味をもち、楽しんでいる姿が伺えます。</li> <li>外遊びが有効だと思います。暑くはよく、雨でも外で遊んでいました。</li> </ul>	次年度も、体育の授業の準備運動の一つとして縄跳びに取り組ませます。また、運動会でN1への保護者参加を呼び掛けることで、家庭での運動習慣に繋げ、日々の運動不足解消を図る。集団の力を借りる取組として、跳んだ回数×跳んだ人数で回数を競う長縄連続跳びを行うことで、外遊びを推奨する。
信頼される学校	4	保護者・地域・関係機関に信頼される学校づくり	児童の活躍する場の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種通信や映像の配信、メディアへの投稿等を通じて、児童の活躍する姿や作品を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートによる肯定的評価</li> </ul>	90%	99%	100%	111%	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「学校は保護者に対して積極的に児童の活躍する姿や取組を発信している。」に対する肯定的回答は、第1回アンケート98%、第2回100%、第3回が100%であった。学校からの発信を保護者が肯定的に捉えてくださった。今年度Classroomで、運動会、学習発表会などの学校行事をはじめ、各学年での児童の活躍する姿の発信や、新聞への俳句の投稿等が肯定的評価につながったと考える。一方、全学年でClassroomによる発信はできていないので、できれば今年度中に発信したい。</li> </ul>	A 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の在り方の工夫や、ICTの工夫による取組がとても良いと感じました。</li> <li>適切に改善策が考えられていると思います。</li> <li>「学校」だけでなく、日頃の学校生活を発信しており、内容が分かりやすいです。今後も継続してください。</li> <li>保護者・地域に向けた学校づくりの中、児童の活躍の場の共有を大切にしていると感じました。</li> <li>俳句に関して、読んでもらう時に行かなくてもいい時を見せてもいい、子供たちの理解に近づけています。掲示場所が、保護者の目に見えないのが残念です。</li> <li>地域行事での活躍はどうだったのでしょうか。</li> </ul>	全学年、Classroomによる児童の活躍する姿の発信を目指す。今年度後半、新聞への俳句の投稿などを積極的に行った。来年度は年度当初から積極的にやりたい。新型コロナウイルス感染症の分類が変わったので、来年度の学習発表会ではできるだけ替え歌を入れて発表したい。そうすることで、保護者に様々な学年の活躍する姿を見ていただきたい。
			働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務時間の縮減へ向け、業務改善を推進させ、児童に向き合う時間を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員アンケート「子供と向き合う時間の確保」の肯定的評価</li> </ul>	95%	90%	100%	105%	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員アンケート「児童の語にじっくりと耳を傾ける。」「個別の対応のための教材作りを含めた教材研究ができている。」など子供と向き合う時間がある。」に対する肯定的回答は、第1回アンケート90%、第2回80%、第3回が100%であった。年度末に向けて業務量が増えている。科目ごとの締め切りを提示するなど、スケジュール管理を意識していることが肯定的評価につながったと考える。業務が偏らないよう、割り振ることも意識している。</li> </ul>	A 3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュール管理がなされた結果だと思います。</li> <li>適切に改善策が考えられていると思います。</li> <li>スケジュール管理や、教職員同士の協働の中、児童と向き合う時間の確保が行われていると思います。</li> <li>教職員が働きやすい職場環境になっているようで、良いと思います。引き続き、明るく職場を目指してください。</li> <li>教職員が生きていきと働ける環境がとても大切ですが、どのようなやり方で時間外勤務の時間を減らしたのか、参考したいです。</li> </ul>	行事予定、月中行事や週予定等がリンクするなど、より運動性の高いITPを利用して、ICTによる業務改善を工夫する。1人で抱え込むことなく、お互いに支え合える教職員集団を、引き続き目指す。引き続き、校務分掌制における業務の偏り解消を意識する。

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」を表示する。

達成度の見取り	
4. 1.06%以上	3. 1.00%~1.05%
2. 7.5%~99%	1. 7.5%未満

学校運営協議会委員評価	
A. とても適切である	B. 概ね適切である
C. あまり適切でない	D. 全く適切でない

東広島市会計年度任用職員の募集をしています。関心のある方は、下のWebをご覧ください。  
 【会計年度任用職員募集Webページアドレス】  
<https://www.city.higashiroshima.lg.jp/material/files/group/75/itiran.pdf>